

印紙
2000円
印紙
2000円
(6003)

実用新案登録願

10

昭和 53 年 月 日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 いちご収穫車 シュウカクシャ

2. 考案者

住 所 福岡市西区今宿青木 690 番地
 三菱電機株式会社 福岡製作所内
 氏 名 黒江 ヒロシ (外 4名)

3. 実用新案登録出願人 郵便番号 100

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号
 名 称 (601) 三菱電機株式会社
 代表者 進藤貞和

4. 代理人 郵便番号 100

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目 2 番 3 号
 三菱電機株式会社内

氏 名 (6699)弁理士 萩野信一 (外 1 名)
 (連絡先 03(435)6095特許部)

5. 添付書類の目録

明細書	1通
図面	1通
委任状	1通
出願審査請求書	1通

方審式

53 089671 55-6177

明細書

1. 考案の名称

いちご収穫車

2. 実用新案登録請求の範囲

(1) 座席前部に荷台を有しあつ座席より低い位置で前車輪より前へ突き出た形で足乗せを備えた動力式いちご収穫車において、上記足乗せを支持部材を介して前後へ摺動自在に取付け、前車輪より前へ突き出したり、または引込めたりできるようにしたことを特徴とするいちご収穫車。

(2) 足乗せをガイドボスに摺動自在に嵌め込んで支持してなる実用新案登録請求の範囲第1項記載のいちご収穫車。

(3) 足乗せを2個のローラー間に挟んだ状態で支持してなる実用新案登録請求の範囲第1項記載のいちご収穫車。

3. 考案の詳細な説明

この考案は、軌道を走行できるようにしたいちごの動力式収穫車において、人が乗車した際に快適な姿勢で作業が行えるように設けられた足乗せ

に関するものである。

従来、いちごの収穫車としては、第1図及び第2図に示すものがあつた。図において、(1)は収穫車本体、(2)は収穫車本体(1)の後部に設けられて後車輪(6)を駆動する減速機付モーター、(3)は減速機付モーター(2)に電源を供給するバッテリー、(4)は中央部の座席、(5)は車体前部に設けられて荷箱をのせるための荷台、(7)は前車輪、(8)はこの前車輪(7)から前方へ突き出した状態で座席(4)より低い位置に固定された一対の足乗せである。

このような構造のいちご収穫車において、座席(4)に人が乗車し、駆動用スイッチ(図示せず)を入れて減速機付モーター(2)に通電すると、モーターの駆動力は減速機を介して低速高トルクとなり、チエーンを介して後車輪(6)へ伝えられて収穫車は前進または後進する。この際、人の姿勢は座席(4)に腰かけ、足は前方に伸ばして足乗せ(8)上に置く形となり、この状態でいちごの栽培された軌間の軌溝を進行しながら人力によりいちごを収穫する。そして、一つの軌溝での収穫が終了すると、次の

軌溝に移動して収穫を行うが、この移動するときも足乗せの位置は、作業がやり易くかつ疲れにくいように、前車輪から前方へ突き出した位置となつてゐる。

しかしながら、この場合一つの軌溝から次の軌溝へ移動する際、特にビニールハウス内などでは狭い軌端部で移動しなければならないので、このときに前方へ突き出た足乗せがビニールハウスを構成するビニールを破るなどの欠点があつた。

この考案は、上記のような従来のものの欠点を除去するためになされたもので、収穫作業中は作業がやり易く疲れない位置に足が乗せられるとともに、一つの軌溝から次の軌溝に移動する場合はビニールハウスを構成するビニールを破ることのないような足乗せを提供したものである。

以下この考案の一実施例を第8図と第9図によつて説明する。図において、(7)は前車輪、(8)は足乗せであり、この足乗せ(8)は前車輪(7)の側板(9)に取付けられたガイドボス(10)に前後へ滑動自在に嵌合支持されている。

この考案は上記のように構成されているので、収穫作業中は足を足乗せ(8)に乗せて伸ばすと、ガイドボス(4)により足乗せ(8)は適当な位置まで車軸中心線とほぼ平行に摺動し(第8図)、この状態で収穫作業は能率よく快速に行うことができる。更に一つの軌の収穫が終り次の軌に移る場合は、足乗せ(8)を手または足で座席の方へ引張れば、ガイドボス(4)によりほぼ車軸中心線に平行に摺動して収穫車の全長は短くなり(第4図の状態)、ビニールハウスを構成するビニールを破ることなく次の軌溝に移ることができる。

なお、上記実施例では摺動運動を規制する支持部材としてガイドボス(4)を使用したが、この支持部材は摺動運動を規制するものならどのようなものでもよく、例えばローラー2個で足乗せをはさん込んでよい。

以上のようにこの考案によれば、本体に設けたガイドボスなどの支持部材を介して足乗せを前後へ摺動自在に装着したので、収穫作業時は作業がやり易く疲れにくい位置に足を置くことができ、

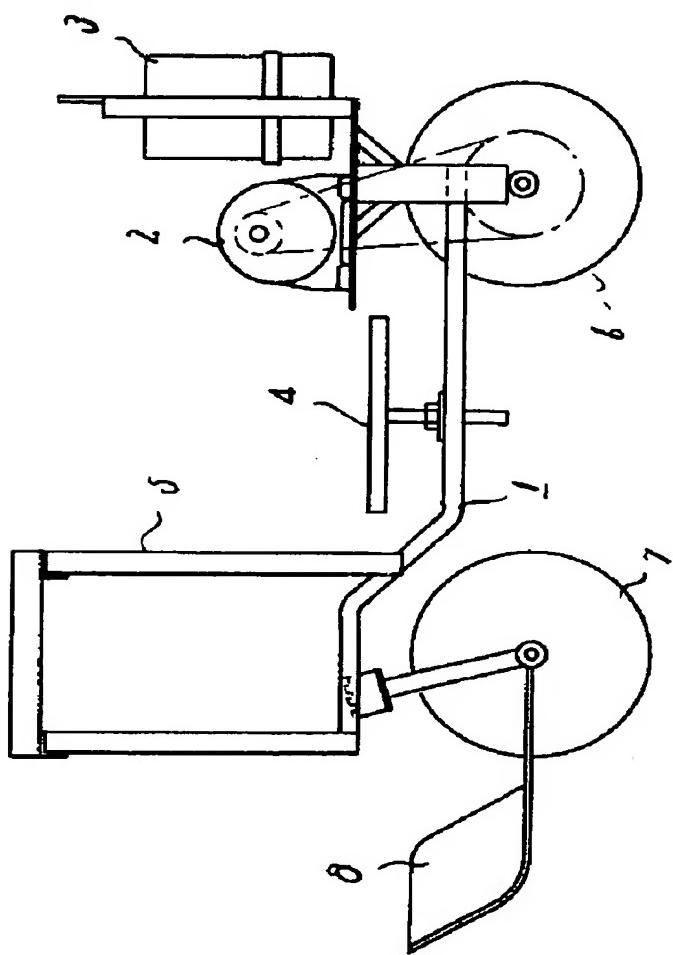
かつ収穫機が終つて軌溝から次の軌溝に移る場合は収穫車の全長が短くなつて、ビニールハウスを構成するビニール壁を破ることなく容易に移ることができ、実用上すぐれた効果を奏する。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来のいちご収穫車を示す側面図、第2図は同平面図、第3図はこの考案の一実施例を示す要部側面図、第4図は作用説明図である。

図中、(1)は収穫車本体、(4)は座席、(5)は荷台、(7)は前車輪、(8)は足乗せ、(10)はガイドボスである。なお図中同一符号は同一又は相当部分を示す。

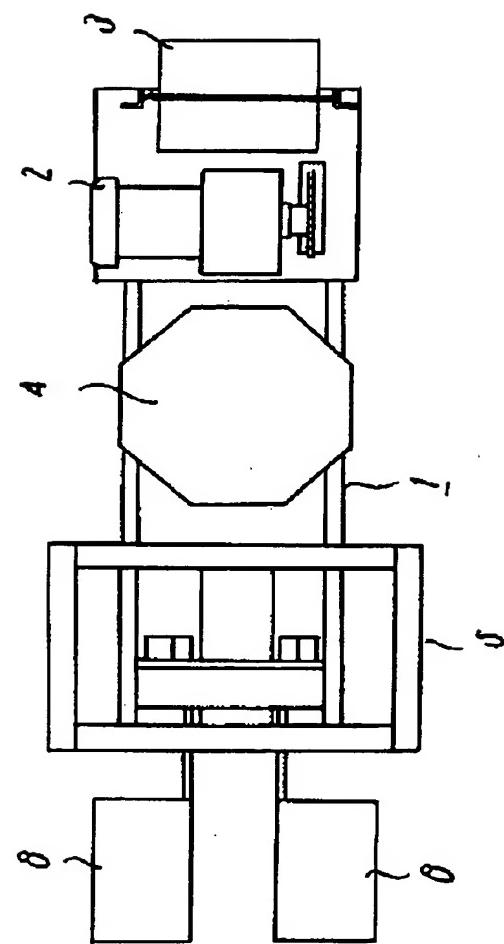
代理人 萩野信一（外1名）



図一
一

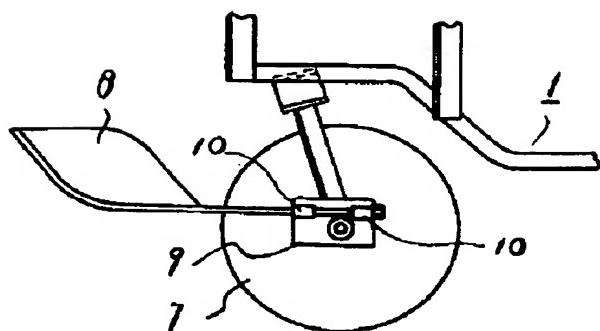
6177 1/3

出願人代理人 ニューライフ・ジャパン

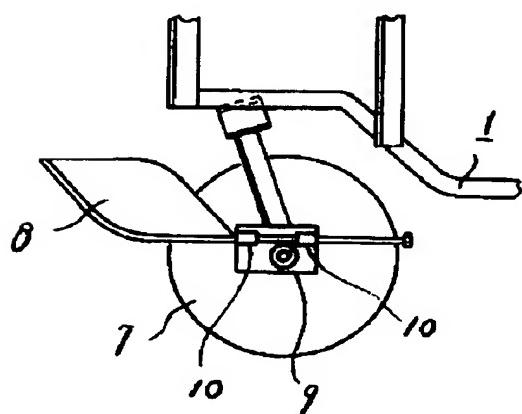


6177 2/3

出願人代理人 フェリシティ 富野洋一



■ 3 ■



■ 4 ■

6177 3/3

6. 前記以外の考案者、実用新案登録出願人または代理人

考案者

住 所 福岡市西区今宿青木690番地
氏名 江 順 一サム

住 所 同 上
氏名 ミネ マツ ヨシ ヒコ

住 所 同 上
氏名 ヤマザキ カツヒコ

住 所 同 上
氏名 サカモト ケンイチロウ

代 理 人 郵便番号 100

住 所 東京都千代田区丸の内二丁目2番3号
三菱電機株式会社内

氏 名(7375)弁理士 大 岩 増 雄

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADING TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.